

[スキー] 全日本学生スキー選手権

団体女子が準優勝

女子回転・清澤準優勝、女子フリー10キロ・清水準優勝

全日本学生スキー選手権が1月12から18日まで、長野県白馬村で行われた。団体で男子は9位とふるわなかったが、女子が準優勝を果たした。

樋口吉和主将(商4・十日町高)は「チーム一丸となって頑張った。女子は昨年より順位を一つ上げたが、男子の結果は残念」と話し、後輩たちに「女子は優勝、男子は上位入賞を目指し、頑張ってもらいたい」とエールを送った。



健闘したスキー部

【アルペン】

▽女子回転清澤＝準優勝、服部七穂(経営4・小樽双葉高)＝4位、安田かずみ(経営2・歌志内高)＝6位▽同大回転服部＝3位、清澤＝5位▽同スーパー大回転安田＝5位▽男子回転山内大希(経営1・青森山田高)＝8位

【クロスカントリー】

▽フリー10清水美穂(文1・飛騨神岡高)＝準優勝、大森菜保子(経済1・花輪高)＝4位、下平恵理華(商1・飯山南高)＝6位、駒村裕子(商4・飯山南高)＝8位▽リレー女子(3×5キロ)＝3位、▽リレー男子(4×10キロ)＝5位▽クラシカル5キロ大森＝4位、清水＝5位、駒村＝7位▽スプリント1.4キロ大森＝3位、清水＝6位、駒村＝7位、下平＝8位



ノルディックジュニア世界選手権に出場の大森

【ジャンプ】

▽花岡正人(法3・孺恋高)＝8位。



FIS朝里川温泉スラローム競技会(1/27～29)でも、清澤が女子回転・第2戦で優勝。同山形蔵王ライザスラローム大会(1/27～29)では、清野大輔(経営3・日大山形高)が男子回転・第1戦で3位となった。

(澤田 和輝・法2)

[フェンシング]

後藤が「世界ジュニア」へ

【全日本選手権＝12月15～18日、神戸市中央体育館】今野勝(商4・川俣高)、島村智博(経営4・東亜学園高)、池澤春光主将(経営4・鳥取西工高)、坂本芳恵(文4・大分豊府高)、舟山紗智(経済3・米沢東高)、佐々木智子(経済2・八千代西高)の6選手が出場。男子サーブル団体で4位、島村がサーブル個人で8位入賞を果たした。

【JOCジュニアオリンピックカップ＝12月24～27日、駒沢オリンピック公園総合体育館】男子サーブル個人で後藤健太郎(経営2・大分豊府高)が準優勝に輝いた。

【2006年世界ジュニア選手権代表選考会＝1月7～9日、日大八幡山総合体育館】フルーレで大久玲(経営1・仙台大)が準優勝、坂本遼輔(商2・翔陽高)が4位。後藤はサーブルで6位となり、ジュニアオリンピックカップの結果と合わせ、世界ジュニア・カデ選手権の出場権を得た。

[スピード／アイスホッケー／フィギュア] 日本学生氷上競技選手権

スピード チームパシュート5000メートル道下優勝

スピードスケート、アイスホッケー、フィギュアスケートの3部門で争う日本学生氷上競技選手権が1月6から9日まで、帯広の森スケート場で行われ、専大は男子3種目総合7位となった。

スピード部門では今大会からの正式種目・団体追い抜き(チームパシュート)で荒倫宏(商4・池田高)・井出智秀(商4・小海高)・道下雅史(経営1・白樺学園高)組が優勝。男子5000メートルで道下が優勝を果たした。



部門別で団体5位のスピードスケート部

5000メートルでは荒も6位と健闘、道下は10000メートル7位。依田幸一郎(経営4・佐久長聖高)・杉本太一(経営3・白樺学園高)・金澤将希(経済1・岡谷東高)・今野陽太(経営1・白樺学園高)が出場した2000メートルリレーは4位入賞。部門別団体で5位となった。アイスホッケー部門はベスト8進出。フィギュア部門は男子14位、女子19位に終わった。

[スピードスケート] 全日本ジュニア選手権

道下が3種目制覇

「世界ジュニア」出場権獲得

スピードスケートの全日本ジュニア選手権(1月13～15日、釧路市)で道下が1500、3000、5000メートルでいずれも優勝を果たし、500メートルでも6位入賞。見事総合優勝の座に輝いた。この結果、世界ジュニア選手権の出場権を獲得した。「世界ジュニアで少しでも良い成績が残せるよう、上を目指していきたい」と世界を視野に入れ、力強く目標を語った。

また、関東学生選手権(1月14、15日、山梨県セイコオーバル)は、団体で3位入賞。個人では井出が3000メートルで優勝、5000メートルで3位。荒が5000メートルで準優勝を果たした。

(澤田 和輝・法2)

◀OBOGコーナー▶

☆渡辺さんが活躍

アメリカンフットボール日本選手権ライスボウル 社会人リーグ「Xリーグ」の優勝チームと大学王座決定戦「甲子園ボウル」優勝校が対戦するこの試合に、渡辺雄一さん(平9経営)が社会人王者・オービックシーガルズのディフェンス(コーナーバック)として出場。チームの3度目の日本一に貢献した。

☆中川さんが出場

ABAオールスター戦 中川和之さん(平17経済=ハーレムストロングドッグス)が米プロバスケットボールの独立リーグ、アメリカン協会(ABA)のオールスター戦(2月11日、フロリダ州)の東軍代表に選出された(日本人選手の出場は初めて)。今シーズン途中からポイントガードのスターターの座を掴み、ここまで22試合に出場。1試合平均12得点、5・5アシストと、中心選手として活躍している。

☆三谷さんがベスト5に初選出

全日本総合バスケットボール選手権(女子) 大学、社会人の各チームが真の日本一の座を賭けて争う同大会に、三谷藍さん(平13経営)が富士通レッドウェーブのセンターフォワードとして全試合に出場。決勝では3ポイント3本を含む、チームトップの15得点を挙げ、初優勝に貢献。大会ベスト5にも初選出された。現在開催中の日本リーグでも1試合平均11・6得点、6・5リバウンドの好成績を残している。

☆福田さんが日本代表で優秀団体に

第55回日本スポーツ大賞 福田佑輔さん(平16経済=警視庁)が所属し、昨年のユニバーシアード競技大会・フェンシング男子フルーレ団体で38年ぶりの金メダルをもたらした日本代表チームが、同賞(読売新聞社選定)の優秀団体に選ばれた。

《記録コーナー》

◇アーチェリー部

▽関東学生インドア一選手権(12月24日=東京武道館)山本泰志(経営3・大宮開成高)=7位

◇スキー部

▽全日本学生アルペンチャンピオン大会(1月4~6日=長野県志賀高原)【女子】大回転1戦目・船渡千裕(法3・高山高)=5位、清澤=6位、高橋万理(経済2・歌志内高)=7位。2戦目・服部=7位。回転・安田=8位。

▽全日本学生クロスカントリーチャンピオン大会(12月20~23日=北海道音威子府村)C5・大森=5位、清水=7位、下平=8位。F10・大森=4位、駒村=5位。リレー・北林亜砂子(文2・米内沢高)・駒村・山瀬由貴(文1・福野高)=5位

▽全日本クロスカントリー音威子府大会(12月25~27日=北海道音威子府村)C5・大森=3位。F5・大森=8位

▽全日本クロスカントリー旭川大会(1月4日=北海道旭川市)F10・清水=4位※C=クラシカル、F=フリー、数字は距離(キロ)

◇卓球部

▽天皇杯・皇后杯全日本選手権(1月10~15日=東京体育館)混合ダブルス・原雅彦(商3・青森山田高)・杉田早苗(商2・四天王寺高)組=ベスト8

◀国際大会出場選手▶

◇アメリカンフットボール部

定方 雄太(経済1・花咲徳栄高)

横山 一樹(経済1・武蔵工大付高)NFLグローバルジュニアチャンピオンシップ・
U-19(1月25～29日＝米国・デトロイト市)

※日本代表の一員として日本の銅メダル獲得に貢献した。

◇スキー部

大森 菜保子(経済1・花輪高)FISノルディックジュニア世界選手権・クロスカントリー(1月23日
～2月8日＝スロベニア)

◇スピードスケート部

道下 雅史 世界ジュニア選手権(3月10～12日＝ドイツ・エルフルト)

◇フェンシング部

後藤 健太郎 世界ジュニア・カデ選手権(4月9～17日＝韓国・テペク市)※ジュニア男子サーブ
ルに出場